

[平成19年度設置]

梶山女学園大学 教育学部

設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 梶山女学園
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

事務局長	タカ	ギ	キチ	ロウ
総務部長	コ	バヤシ	ツグ	アキ
電話番号	小	林	嗣	明
	052-781-1186			
（夜間）	052-781-4317			
F A X	052-781-8831			
e-mail	tuguaki@sugiyama-u.ac.jp			

目 次

1	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・	1～3
2	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4～9
3	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・	10～11
4	既設大学等の状況・・・・・・・・	12
5	教員組織の状況・・・・・・・・	13～20
6	留意事項に対する履行状況等・・・・・・・・	21
7	その他全般的事項・・・・・・・・	22～26

(資料) 別紙1 梶山女学園大学全学FD委員会規準

別紙2 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 相山女学園

(2) 大 学 名

相山女学園大学

(3) 大学の位置

愛知県名古屋市千種区星が丘元町 1 7 番 3 号

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(スギ ヤマ マサ ヒロ) 相 山 正 弘 (平成 1 7 年 4 月 1 日)		
学 長	(イズミ ユウ スケ) 泉 有 亮 (平成 1 6 年 4 年 1 日)	(ノ ブチ タツ オ) 野 淵 龍 雄 (平成 2 0 年 4 年 1 日)	前学長の任期満了に伴う変更 ⑳
学 部 長	(カ イ シン イチ) 甲 斐 進 一 (平成 1 9 年 4 月 1 日)		
学科長等		(オオ モリ タカ コ) 大 森 隆 子 (平成 1 9 年 4 月 1 日)	組織的な学部運営を行うため 保育・初等教育専修担当主任 として任命⑲
		(ミヤ カワ ジュウ ジ) 宮 川 充 司 (平成 1 9 年 4 月 1 日)	組織的な学部運営を行うため 初等中等教育専修担当主任と して任命⑲

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

(5)－① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	認 可 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 子ども発達学科 学士（教育学）	4 年	147 人	2 年次 2 人 3 年次 3 人	600 人	

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平均入学定員 超 過 率	備 考
A 入学定員	147 人	(2) 147 人	() 人	() 人	1.13倍	
志願者数	917	(0) 1,175	()	()		
受験者数	907	(0) 1,158	()	()		
合格者数	370	(0) 495	()	()		
B 入学者数	167	(0) 169	()	()		
入学定員超過率 B / A	1.13	(0) 1.14	()	()		

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
1 年次	[0] 167	[0] 169	[]	[]	
2 年次		[0] 163	[]	[]	
3 年次			[]	[]	
4 年次				[]	
計	[0] 167	[0] 332	[]	[]	

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/b）
平成１９年度	計３人 [０人]	計１６７人 [０人]	[０%] １．８%
	うち平成１９年度入学者 ３人	うち平成１９年度 １６７人	
	(主な退学理由) 死亡１名、その他一身上の都合２名		
平成２０年度	計１人 [０人]	計３３６人 [０人]	[０%] ０．３%
	うち平成１９年度入学者 １人	うち平成１９年度 １６７人	
	うち平成２０年度入学者 ０人	うち平成２０年度 １６９人	
	(主な退学理由) 除籍１名		
平成２１年度	計 [０人]	計 [０人]	[%] %
	うち平成１９年度入学者 人	うち平成１９年度 人	
	うち平成２０年度入学者 人	うち平成２０年度 人	
	うち平成２１年度入学者 人	うち平成２１年度 人	
	(主な退学理由)		
平成２２年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成１９年度入学者 人	平成１９年度 人	
	うち平成２０年度入学者 人	平成２０年度 人	
	うち平成２１年度入学者 人	平成２１年度 人	
	うち平成２２年度入学者 人	平成２２年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度 までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。
また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

<教育学部 子ども発達学科>

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目										
人間論	1	2			1	1				
教養教育科目										
①外国語コミュニケーション										
英語Ⅰ	1	3								
英語Ⅱ	2	3								
英語ⅢA（作文・文法等）	3.4		2							
英語ⅢB（英会話等）	3.4		3							
中国語入門Ⅰ	2.3.4		1							
中国語入門Ⅱ	2.3.4		1							
ハングル入門Ⅰ	2.3.4		1							
ハングル入門Ⅱ	2.3.4		1							
ドイツ語入門Ⅰ	2.3.4		1							
ドイツ語入門Ⅱ	2.3.4		1							
フランス語入門Ⅰ	2.3.4		1							
フランス語入門Ⅱ	2.3.4		1							
ポルトガル語入門Ⅰ	2.3.4		1							
ポルトガル語入門Ⅱ	2.3.4		1							
②日本語表現										
日本語表現法（文章作法）	1		2		1					
日本語表現法（話し方）	1		2							
③コンピュータ・リテラシー										
コンピュータと情報（基礎）	1		2			1				
コンピュータと情報A（表計算等）	1		2			1				
コンピュータと情報B（Web作成等）	1.2		2			1				
④健康とスポーツ										
健康科学	1	1			1					
スポーツ科学	1	1			1					
⑤人間と社会・文化										
人類学入門	1.2		2							
心理学入門	1.2		2							
哲学入門	1.2		2							
日本国憲法	2	2								
時事問題の理解	3		2							
ジェンダー論	2		2							
人権論	2		2							
⑥人間と環境・科学										
環境問題の理解	3		2			1				
数理の世界A（代数・幾何）	1		2		2					
数理の世界B（解析）	1		2		1	1				
物理の世界	2		2							
化学の世界	2		2							

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目										
専門基礎科目										
教職論	1		2			1				
保育職論	3		2				1			
教育本質論	1	2			1					
子どもの発達と学習	1	2			2 +					教育課程の充実を図るため教員を追加⑩ 担当 梶田 正巳（教授） 平成19年8月 教員審査済 判定 可
子どもの発達心理学	1		2		1					
教育制度と社会	1	2								
幼児理解の理論と方法	1		2		1					
社会福祉	1		2		1					
社会福祉援助技術演習	2		2		1					
児童福祉	2		2							
幼児教育論	2		2		1					
養護原理	2		2		1					
ふれあい実習Ⅰ（観察）	1	1			5	1	2			
ふれあい実習Ⅱ（参加）	1. 2. 3. 4		1			1				
教育ボランティアⅠ	1. 2. 3. 4		1			1				
教育ボランティアⅡ	2. 3. 4		1			1				
福祉ボランティアⅠ	1. 2. 3. 4		1				1			
福祉ボランティアⅡ	2. 3. 4		1				1			
心理臨床	2. 3. 4		2							
子どもと伝承遊び	1. 2. 3. 4		2		1					
基礎ピアノⅠ	1		1		3	1	1			教育課程の充実を図るため教員を追加⑩ 担当 植松 峻（教授） 平成19年7月 変更書提出予定 平成19年8月 教員審査済⑩ 判定 可 担当 中田 直宏（教授） 平成19年7月 変更書提出予定 平成19年8月 教員審査済⑩ 判定 可 担当 畠澤 郎（教授） 平成19年7月 変更書提出予定 平成19年8月 教員審査済⑩ 判定 可
基礎ピアノⅡ	1		1		3	1	1			教育課程の充実を図るため教員を追加⑩ 担当 植松 峻（教授） 平成19年7月 変更書提出予定 平成18年8月 教員審査済⑩ 判定 可 担当 中田 直宏（教授） 平成19年7月 変更書提出予定 平成18年8月 教員審査済⑩ 判定 可 担当 畠澤 郎（教授） 平成19年7月 変更書提出予定 平成18年8月 教員審査済⑩ 判定 可
専門展開科目										
教科（初等）										
国語（書写を含む。）	2		2		1					
社会	2		2		1					
算数	2		2			1				
理科	2		2			1				
生活科	2		2			1				
音楽	1		2		1					
図画工作	1		2		1					
家庭科	2		2			1				
体育	1		2		1					

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教科（数学）										
代数学基礎	1.2		2		1					
幾何学基礎	1.2		2		1					
解析学基礎Ⅰ	1.2		2			1				
解析学基礎Ⅱ	1.2		2			1				
代数学Ⅰ	2.3		2		1					
代数学Ⅱ	2.3		2		1					
幾何学A（様々の幾何）	2.3		2		1					
幾何学B（位相）	2.3		2		1					
解析学ⅠA（多変数微積分学）	2.3		2			1				
解析学ⅠB（常微分方程式）	2.3		2			1				
解析学Ⅱ	2.3		2			1				
確率論・統計学	2.3		2		1					
コンピュータⅠ	2		2		1					
コンピュータⅡ	2		2			1				
数学演習Ⅰ	1.2		1		2					
数学演習Ⅱ	1.2		1		2					
代数学・幾何学演習Ⅰ	2.3		1		2					
代数学・幾何学演習Ⅱ	2.3		1		2					
解析学演習Ⅰ	2.3		1			1				
解析学演習Ⅱ	2.3		1			1				
コンピュータ演習	2.3		1		1	1				
情報処理演習	2.3		1		1	1				
代数学統論	3.4		2							
幾何学統論	3.4		2							
解析学統論	3.4		2			1				
離散数学	3.4		2							
数学史	3.4		2		1					
現代数学入門A（言葉と体系）	3.4		2		2					
現代数学入門B（構造の科学）	3.4		2		1	1				
教科（音楽）										
ソルフェージュ	1		1		1					
合唱Ⅰ	1		1		1					
合唱Ⅱ	2		1		1					
声楽概論	1		2		1					
声楽Ⅰ	2		1		1					
声楽Ⅱ	2		1		1					
声楽セミナーⅠ	3.4		1		1					
声楽セミナーⅡ	3.4		1		1					
ピアノ概論	1		2				1			
ピアノⅠ	2		1			1				
ピアノⅡ	2		1			1				
ピアノセミナーⅠ	3.4		1			1				
ピアノセミナーⅡ	3.4		1			1				
ピアノ伴奏法	2		1			1				
器楽概論	1		2		1					
器楽Ⅰ	2		1							
器楽Ⅱ	2		1							
器楽セミナーⅠ	3.4		1							
器楽セミナーⅡ	3.4		1							
器楽合奏法	3.4		1		1					
日本の音楽A（楽器）	2		1							
日本の音楽B（声楽）	2		1							

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
指揮法	3.4		1		1					
音楽史 A（日本及びアジアの音楽）	2		2							
音楽史 B（西洋の音楽）	2		2		1					
作曲法Ⅰ（和声・編曲を含む。）	3.4		1		1					
作曲法Ⅱ（和声・編曲を含む。）	3.4		1		1					
音楽理論	1		2		1					
各教科の指導法										
国語の指導法	3		2		1					
社会の指導法	3		2		1					
算数の指導法	3		2			1				
数学の指導法Ⅰ	2		2		1					
数学の指導法Ⅱ	2		2		1					
数学の指導法Ⅲ	3		2		1					
数学の指導法Ⅳ	3		2		1					
理科の指導法	3		2							
生活科の指導法	3		2							
音楽の指導法Ⅰ	2		2		1		1			
音楽の指導法Ⅱ	2		2		1					
音楽の指導法Ⅲ	3		2		1					
音楽の指導法Ⅳ	3		2		1					
図画工作の指導法	2		2		1					
家庭科の指導法	3		2			1				
体育の指導法	2		2		1					
保育										
保育内容総論	1		2		1					
保育指導法（人間関係）	2		2		1					
保育指導法（言葉）	1		2		1					
保育指導法（健康）	1		2							
保育指導法（表現 A）	2		2		1					
保育指導法（表現 B）	2		2				1			
保育指導法（環境）	1		2		1					
小児保健 A（発育・疾病等）	1		2		1					
小児保健 B（公衆衛生）	2		2		1					
小児保健実習	3		1		1					
小児栄養演習	3		2		1					
精神保健	2		2		1					
家族援助論	3		2		1					
乳児保育演習	2		2							
障害児保育演習	3		1		1					
養護内容演習	3		1							
保育実習指導	2		1		1		1			
保育実習Ⅰ A（保育所）	2		2		3		2			
保育実習Ⅰ B（児童福祉施設）	2		2		3		2			
保育実習Ⅱ（保育所）	3		2		3		2			
保育実習Ⅲ（児童福祉施設）	3		2		3		2			
教職										
総合演習	2	2			5 4	3				教育課程の充実を図るため教員を追加② 担当 梶田 正巳（教授） 平成19年8月 教員審査済 判定 可
カリキュラム論	2	2								
道徳の指導法	3		2			1				
特別活動の指導法	3		2			1				
教育の方法と技術	2	2				1				
生徒指導の研究（進路指導の理論及び方法を含む。）	3		2							

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育相談の研究	3	2			1					
教育統計	2		2							
事前及び事後指導	3～4	1			2	2	1			
教育実習 A	3. 4		2		2	2	1			
教育実習 B	3. 4		2		2	2	1			
教育実習 C	4		4		2	2	1			
介護等体験	3		1		2					
実践研究科目										
特別支援教育Ⅰ（発達障害の理解）	3. 4		2		1					
特別支援教育Ⅱ（発達支援の方法）	3. 4		2		1					
模擬授業演習	3	1			4	2				
キャンプ・レクリエーション	3. 4		1							
子どもの異文化間教育	3. 4		2		1					
子どもの情報教育	3. 4		2			1				
子どもの外国語教育	3. 4		2							
いのちの教育	3. 4		2		2					
海外教育研修Ⅰ（事前指導）	1. 2. 3. 4		2		1	1				
海外教育研修Ⅱ（実地研修）	1. 2. 3. 4		4		1	1				
ケースメソッドⅠ	3. 4	1			9 8	2	1			教育課程の充実を図るため教員を追加② 担当 梶田 正巳（教授） 平成19年8月 教員審査済 判定 可
ケースメソッドⅡ	3. 4	1			6 5	4	2			教育課程の充実を図るため教員を追加② 担当 梶田 正巳（教授） 平成19年8月 教員審査済 判定 可
卒業研究	4	8			17 16	8	2			教育課程の充実を図るため教員を追加② 担当 梶田 正巳（教授） 平成19年8月 教員審査済 判定 可

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	166	0	185	19	166	0	185	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

3 施設・設備の整備状況、経費

(星が丘キャンパス)

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	星が丘キャンパス分の みに記載変更㉔ 運動場については校舎 敷地と別地（バス12 分）			
	校 舎 敷 地	4 8 , 2 9 6 . 7 6㎡			4 8 , 2 9 6 . 7 6㎡				
	運動場用地	5 2 , 2 7 5 . 0 0㎡			5 2 , 2 7 5 . 0 0㎡				
	小 計	1 0 0 , 5 7 1 . 7 6㎡			1 0 0 , 5 7 1 . 7 6㎡				
	そ の 他	2 , 7 8 1 . 2 4㎡			2 , 7 8 1 . 2 4㎡				
	合 計	1 0 3 , 3 5 3 . 0 0㎡			1 0 3 , 3 5 3 . 0 0㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	星が丘キャンパス分の みに記載変更㉔			
		4 4 , 0 8 1 . 6 4㎡	1 , 2 2 1 . 7 5㎡	－ ㎡	4 4 , 0 8 1 . 6 4㎡				
		(4 4 , 0 8 1 . 6 4㎡)	(1 , 2 2 1 . 7 5㎡)	(－ ㎡)	(4 4 , 0 8 1 . 6 4㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	星が丘キャンパス分の みに記載変更㉔		
		7 7室	5 0室	8 0室	2 5室 (補助職員 1 1人)	1 室 (補助職員 1 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		教育学部 子ども発達学科			2 7 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	星が丘キャンパス分の みに記載変更㉔
	教育学部	330,995〔77,384〕 (330,995〔77,384〕)	1,987〔 628 〕 (1,987〔628〕)	2,374〔2,374〕 (2,374〔2,374〕)	18,810 (18,810)	4,231 (4,231)	94 (94)		
	計	330,995〔77,384〕 (330,995〔77,384〕)	1,987〔 628 〕 (1,987〔628〕)	2,374〔2,374〕 (2,374〔2,374〕)	18,810 (18,810)	4,231 (4,231)	94 (94)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			星が丘キャンパス分の みに記載変更㉔
		3 , 4 2 7 . 9 7㎡		5 0 0席		3 2 3 , 7 8 9冊			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					星が丘キャンパス分の みに記載変更㉔ 体育館以外のスポーツ 施設については校舎敷 地と別地（バス12分）
		3 , 9 8 0 . 9 4㎡		テニスコート6面		ゴルフ練習場20打席			

(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	1. 共同研究費 (1) Aは学部の教員を対象とし、配分は学部長が教員の希望を取りまとめ教授会で決定する。 (2) Bは全学の教員を対象とし、委員会で配分を取りまとめ、学長が決定する。 2. 海外研修旅費は長期（6カ月以上1年以内）と短期（1カ月以上3カ月以内）について、全学を対象とし、学長が選考委員会に諮問し、その結果を理事長に報告して、理事会で決定する。海外研修に必要な交通費及び滞在費はその都度予算化する。 3. 上記の他、全学を対象として、国内研修旅費（3カ月以上6カ月以内）を海外研修旅費に準じて決定する。また、教員の学術研究の成果の図書出版に対して、学長が審査委員会の審査を経て助成対象図書を決定し、理事長の承諾を得て1件1,500千円以内の助成を決定する。 4. 開設年度以降の図書購入費及び設備購入費については、新規事業予算としての見積りはない。経常費予算の中で必要額を予算化して対応する。
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	実験系 862千円 非実験系 579千円	実験系 862千円 非実験系 579千円	図書購入費	10,000千円	0千円	0千円	
		共 同 研 究 費 等	A 3,000千円 B 15,000千円	A 3,000千円 B 15,000千円	設備購入費	303,434千円	0千円	0千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,320千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	一 千円	一 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			資産運用収入、雑収入等						

4 既設大学等の状況

大学の名称	椋山女学園大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	定員 超過率	開設年度	所在地	
生活科学部 管理栄養学科	4	120	—	510	学士 (生活科学)	1.10	昭和24	名古屋市千種 区星が丘元町 17番3号	平成19年度から食品栄養 学科の専攻（食品栄養学専 攻及び管理栄養士専攻）を 廃止し管理栄養学科に名称 変更 平成19年度から入学定員 を変更（食品栄養学科135 人→管理栄養学科120人）
生活環境デザイン学科	4	132	2年次 2 3年次 3	540	学士 (生活科学)	1.08	昭和24		
文学部 日本語日本文学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和47		平成15年度から募集停止
英語英米文学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和47		平成15年度から募集停止
国際コミュニケーション学部 国際言語コミュニケーション学科	4	105	2年次 4 3年次 4	440	学士 (国際コミュニケーション 学)	1.20	平成15		
表現文化学科	4	95	2年次 4 3年次 4	400	学士 (国際コミュニケーション 学)	1.25	平成15		
人間関係学部 人間関係学科	4	120	3年次 8	556	学士 (人間関係学)	1.07	昭和62	愛知県日進市 岩崎町竹ノ山 37番234	平成19年度から入学定員 を変更（150人→120 人） 平成19年度から3年次編入 学定員を変更（15人→8 人）
心理学科	4	100	3年次 8	416	学士 (人間関係学)	1.18	平成14		平成19年度から臨床心理 学科を心理学科に名称変更 平成19年度から臨床心理 学科の3年次編入学定員を 変更（15人→8人）
文化情報学部 文化情報学科	4	200	3年次 5	870	学士 (文化情報学)	1.12	平成12	名古屋市千種 区星が丘元町 17番3号	平成19年度から入学定員 を変更（230人→200 人） 平成19年度から3年次編入 学定員を変更（20人→5 人）
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	4	170	—	680	学士 (マネジメント)	1.17	平成15		
教育学部 子ども発達学科	4	147	2年次 2 3年次 3	296	学士 (教育学)	1.13	平成19		

（注）定員超過率＝開設年度から報告年度までの各年度の入学定員超過率の平均

5 教員組織の状況

<教育学部 子ども教育学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	甲斐 進一	平成19年4月	人間論 教育本質論 ふれあい実習Ⅰ(観察) 総合演習 ケースメソッドⅠ 卒業研究						
専	教授	石橋 尚子	平成19年4月	子どもの発達心理学 幼児理解の理論と方法 幼児教育論 保育指導法(人間関係) 保育実習指導 保育実習ⅠA(保育所) 保育実習ⅠB(児童福祉施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅲ(児童福祉施設) いのちの教育 ケースメソッドⅠ ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	教授	磯部 錦司	平成19年4月	図画工作 図画工作の指導法 保育指導法(表現A) 総合演習 模擬授業演習 ケースメソッドⅠ 卒業研究						
専	教授	植松 峻	平成19年4月	音楽 ソルフェージュ 合唱Ⅰ 合唱Ⅱ 声楽概論 声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽セミナーⅠ 声楽セミナーⅡ 指揮法 卒業研究	専	教授	植松 峻	平成19年4月	音楽 ソルフェージュ 合唱Ⅰ 合唱Ⅱ 声楽概論 声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽セミナーⅠ 声楽セミナーⅡ 指揮法 卒業研究 基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ	教育課程の充実を図るため平成20年4月から担当科目を追加 平成19年7月 変更書提出予定④ 平成19年8月 教員審査済⑤ 教育課程の充実を図るため平成19年9月から担当科目を追加 平成19年7月 変更書提出予定④ 平成19年8月 教員審査済⑤
専	教授	宇土 泰寛	平成19年4月	社会 社会の指導法 模擬授業演習 子どもの異文化間教育 海外教育研修Ⅰ(事前指導) 海外教育研修Ⅱ(実地研修) ケースメソッドⅡ 卒業研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	大森 隆子	平成19年4月	子どもと伝承遊び 保育内容総論 保育指導法(言葉) 保育指導法(環境) 家族援助論 保育実習IA(保育所) 保育実習IB(児童福祉施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅲ(児童福祉施設) ケースメソッドⅠ ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	教授	國井 修一	平成19年4月	健康科学 スポーツ科学 ふれあい実習Ⅰ(観察) 体育 体育の指導法 卒業研究						
専	教授	佐藤 厚子	平成19年4月	日本語表現法(文章作法) ふれあい実習Ⅰ(観察) 国語(書写を含む。) ケースメソッドⅠ 卒業研究						
専	教授	竹内 聖彦	平成19年4月	数理の世界A(代数・幾何) 代数学基礎 代数学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学B(位相) 確率論・統計学 コンピュータⅠ 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ 代数学・幾何学演習Ⅰ 代数学・幾何学演習Ⅱ コンピュータ演習 情報処理演習 現代数学入門A(言葉と体系) 卒業研究						
専	教授	武山 隆昭	平成19年4月	国語の指導法 模擬授業演習 ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	教授	田中 俊雄	平成19年4月	社会福祉 社会福祉援助技術演習 養護原理 障害児保育演習 保育実習ⅠA(保育所) 保育実習ⅠB(児童福祉施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅲ(児童福祉施設) 総合演習 介護等体験 特別支援教育Ⅰ(発達障害の理解) 特別支援教育Ⅱ(発達支援の方法) ケースメソッドⅠ 卒業研究						
専	教授	中島 正夫	平成19年4月	小児保健A(発育・疾病等) 小児保健B(公衆衛生) 小児保健実習 小児栄養演習 精神保健 いのちの教育 ケースメソッドⅠ ケースメソッドⅡ 卒業研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	中田 直宏	平成19年4月	器楽概論 器楽合奏法 音楽史B(西洋の音楽) 作曲法Ⅰ(和声・編曲を含む。) 作曲法Ⅱ(和声・編曲を含む。) 音楽理論 ケースメソッドⅠ 卒業研究	専	教授	中田 直宏	平成19年4月	器楽概論 器楽合奏法 音楽史B(西洋の音楽) 作曲法Ⅰ(和声・編曲を含む。) 作曲法Ⅱ(和声・編曲を含む。) 音楽理論 ケースメソッドⅠ 卒業研究 基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ	教育課程の充実を図るため平成20年4月から担当科目を追加 平成19年7月 変更書提出予定④ 平成19年8月 教員審査済⑤ 教育課程の充実を図るため平成19年9月から担当科目を追加 平成19年7月 変更書提出予定④ 平成19年8月 教員審査済⑤
専	教授	浪川 幸彦	平成20年4月	数理の世界A(代数・幾何) 数理の世界B(解析) 幾何学基礎 幾何学A(様々な幾何) 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ 代数学・幾何学演習Ⅰ 代数学・幾何学演習Ⅱ 数学史 現代数学入門A(言葉と体系) 現代数学入門B(構造の科学) 数学の指導法Ⅰ 数学の指導法Ⅱ 数学の指導法Ⅲ 数学の指導法Ⅳ 事前及び事後指導 教育実習A 教育実習B 教育実習C 卒業研究						
兼任	講師	浪川 幸彦	平成19年4月	数理の世界A(代数・幾何) 数理の世界B(解析) 幾何学基礎 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ						
専	教授	畠澤 郎	平成20年4月	ふれあい実習Ⅰ(観察) 音楽の指導法Ⅰ 音楽の指導法Ⅱ 音楽の指導法Ⅲ 音楽の指導法Ⅳ 事前及び事後指導 教育実習A 教育実習B 教育実習C 模擬授業演習 卒業研究	専	教授	畠澤 郎	平成20年4月	ふれあい実習Ⅰ(観察) 音楽の指導法Ⅰ 音楽の指導法Ⅱ 音楽の指導法Ⅲ 音楽の指導法Ⅳ 事前及び事後指導 教育実習A 教育実習B 教育実習C 模擬授業演習 卒業研究 基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ	教育課程の充実を図るため平成20年4月から担当科目を追加 平成19年7月 変更書提出予定④ 平成19年8月 教員審査済⑤ 教育課程の充実を図るため平成20年9月から担当科目を追加 平成19年7月 変更書提出予定④ 平成19年8月 教員審査済⑤

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮川 充司	平成19年4月	子どもの発達と学習 ふれあい実習Ⅰ(観察) 総合演習 教育相談の研究 介護等体験 卒業研究						
専	准教授	酒井 照彦	平成19年4月	教職論 算数 算数の指導法 事前及び事後指導 教育実習A 教育実習B 教育実習C 模擬授業演習 卒業研究						
専	准教授	坂本 徳弥	平成19年4月	総合演習 教育の方法と技術 事前及び事後指導 教育実習A 教育実習B 教育実習C 子どもの情報教育 ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	准教授	白井 朗	平成19年4月	数理の世界B(解析) 解析学基礎Ⅰ 解析学基礎Ⅱ 解析学ⅠA(多変数微積分学) 解析学ⅠB(常微分方程式) 解析学Ⅱ コンピュータⅡ 解析学演習Ⅰ 解析学演習Ⅱ コンピュータ演習 情報処理演習 解析学統論 現代数学入門B(構造の科学) 卒業研究						
専	准教授	野崎 健太郎	平成19年4月	環境問題の理解 理科 生活科 ケースメソッドⅠ ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	准教授	深谷 和義	平成19年4月	コンピュータと情報(基礎) コンピュータと情報A(表計算等) コンピュータと情報B(Web作成等) ケースメソッドⅠ ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	准教授	宮田 俊雄	平成19年4月	基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノセミナーⅠ ピアノセミナーⅡ ピアノ伴奏法 ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	准教授	室 雅子	平成19年4月	家庭科 家庭科の指導法 総合演習 模擬授業演習 卒業研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	山田 真紀	平成19年4月	人間論 ふれあい実習Ⅰ(観察) ふれあい実習Ⅱ(参加) 教育ボランティアⅠ 教育ボランティアⅡ 総合演習 道徳の指導法 特別活動の指導法 海外教育研修Ⅰ(事前指導) 海外教育研修Ⅱ(実地研修) 卒業研究						
専	講師	清 葉子	平成19年4月	保育職論 ふれあい実習Ⅰ(観察) 福祉ボランティアⅠ 福祉ボランティアⅡ 保育実習指導 保育実習ⅠA(保育所) 保育実習ⅠB(児童福祉施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅲ(児童福祉施設) 事前及び事後指導 教育実習A 教育実習B 教育実習C ケースメソッドⅠ ケースメソッドⅡ 卒業研究						
専	講師	小杉 裕子	平成19年4月	ふれあい実習Ⅰ(観察) 基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ ピアノ概論 音楽の指導法Ⅰ 保育指導法(表現B) 保育実習ⅠA(保育所) 保育実習ⅠB(児童福祉施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅲ(児童福祉施設) ケースメソッドⅡ 卒業研究						
					専	教 授	梶田 正巳	平成19年10月	子どもの発達と学習 総合演習 ケースメソッドⅠ ケースメソッドⅡ 卒業研究	平成19年10月新規採用 平成19年8月 教員審査済㊴
兼任	教 授	北岡 崇	平成19年4月	哲学入門						
兼任	教 授	黒柳 晴夫	平成19年4月	教育制度と社会						
兼任	教 授	谷口 俊治	平成19年4月	心理学入門						
兼任	教 授	山中 市衛	平成19年4月	スポーツ科学						
兼任	講 師	愛敬 浩二	平成20年4月	日本国憲法 人権論						
兼任	講 師	糸 健太郎	平成21年4月	幾何学統論						
兼任	講 師	伊藤 博美	平成20年4月	ジェンダー論						
兼任	講 師	Adrienne Jeanne Glad	平成20年4月	英語Ⅱ	兼任	講 師	Michael Delve	平成20年4月	英語Ⅱ	平成20年4月 前任者辞退による担 当者変更及びクラス 編成の都合による担 当者追加㊴
					兼任	講 師	Rachel Marie Miller	平成20年4月	英語Ⅱ	
兼任	講 師	荻野 砂和子	平成20年4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽セミナーⅠ 声楽セミナーⅡ						
兼任	講 師	奥平 俊子	平成20年4月	児童福祉						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	加藤 純一	平成21年4月	工機指導の研究(進路指導の理論及び方法を含む)						
兼任	講師	川泉 文男	平成20年4月	化学の世界						
兼任	講師	Keith John Vargo	平成19年4月	英語 I	兼任	講師	Zoe Anna Sutton	平成19年4月	英語 I	平成19年4月 前任者辞退による担当者変更⑨
					兼任	講師	Iain Maloney	平成20年4月	英語 I	平成20年4月 前任者辞退による担当者変更及びクラス編成の都合による担当者追加㊿
					兼任	講師	Patricia Persad	平成20年4月	英語 I	
兼任	講師	金 由那	平成20年4月	ハンゲル入門 I ハンゲル入門 II						
兼任	講師	後藤 紀夫	平成19年4月	日本語表現法(話し方)						
兼任	講師	小西 由利子	平成19年4月	保育指導法(健康)						
兼任	講師	小林 久見子	平成20年4月	フランス語入門 I フランス語入門 II						
兼任	講師	齋藤 宏保	平成21年4月	時事問題の理解						
兼任	講師	定行 和子	平成19年4月	基礎ピアノ I 基礎ピアノ II						
兼任	講師	佐藤 枝里	平成20年4月	心理臨床						
兼任	講師	佐野 由於	平成20年4月	日本の音楽B(声楽)						
兼任	講師	澤井 一恵	平成20年4月	日本の音楽A(楽器)						
兼任	講師	庄田 昭人	平成20年4月	国語(書写を含む。) 国語の指導法						
兼任	講師	庄 兵	平成20年4月	中国語入門 I 中国語入門 II	兼任	講師	寺西 光輝	平成20年4月	中国語入門 I 中国語入門 II	平成20年4月 前任者辞退による担当者変更㊿
兼任	講師	高野 智	平成19年4月	人類学入門						
兼任	講師	高橋 伸行	平成21年4月	理科の指導法						
兼任	講師	高橋 隆二	平成20年4月	音楽史A(日本及びアジアの音楽)						
兼任	講師	竹内 政雄	平成21年4月	英語ⅢA(作文・文法等)						
兼任	講師	千野 直仁	平成20年4月	教育統計						
兼任	講師	常田 美穂	平成20年4月	乳児保育演習	兼任	講師	小島 千恵子	平成20年4月	乳児保育演習	平成20年4月 前任者辞退による担当者変更㊿
兼任	講師	寺井 陽一	平成21年4月	養護内容演習						
兼任	講師	遠西 昭壽	平成21年4月	理科の指導法						
兼任	講師	中野 典子	平成21年4月	小児栄養演習						
兼任	講師	中村 太貴生	平成21年4月	生活科の指導法						
兼任	講師	橋本 悦子	平成20年4月	ドイツ語入門 I ドイツ語入門 II						
兼任	講師	長谷川 京子	平成21年4月	子どもの外国語教育						
兼任	講師	秦 真人	平成21年4月	キャンプ・レクリエーション						
兼任	講師	林 孝宏	平成21年4月	代数学統論						
兼任	講師	Philip Gerard Colley	平成19年4月	英語 I	兼任	講師	Christalla Havadjia	平成19年4月	英語 I	平成19年4月 前任者辞退による担当者変更⑨
					兼任	講師	Michael Delve	平成19年9月	英語 I	平成19年9月 前任者辞退による担当者変更㊿
					兼任	講師	Rachel Marie Miller	平成20年4月	英語 I	平成20年4月 クラス編成の都合による担当者追加㊿
兼任	講師	福谷 敏	平成21年4月	数学の指導法IV						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	富久田 治彦	平成20年4月	器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽セミナーⅠ 器楽セミナーⅡ						
兼任	講師	Michael Edward Griffin	平成20年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	Iain Maloney (31)	平成20年4月	英語Ⅱ	平成20年4月 前任者辞退による担 当者変更及びクラス 編成の都合による担 当者追加㊟
					兼任	講師	Patricia Persad	平成20年4月	英語Ⅱ	
兼任	講師	松下 晴彦	平成20年4月	カリキュラム論						
兼任	講師	水戸 博之	平成20年4月	ポルトガル語入門Ⅰ ポルトガル語入門Ⅱ	兼任	講師	重松 由美	平成20年4月	ポルトガル語入門Ⅰ ポルトガル語入門Ⅱ	平成20年4月 前任者辞退による担 当者変更㊟
兼任	講師	安野 史子	平成21年4月	離散数学 数学の指導法Ⅲ						
兼任	講師	八巻 哲示	平成20年4月	物理の世界						
兼任	講師	Roger Todd Beuckens	平成21年4月	英語ⅢB(英会話等)						
兼任	講師	若林 亜由	平成20年4月	器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽セミナーⅠ 器楽セミナーⅡ						
					兼任	講師	井上 綾	平成19年4月	基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ	平成19年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟ 平成19年9月 履修者増加によるクラス 追加㊟
					兼任	講師	岩野 めぐみ	平成19年4月	基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ ピアノⅠ	平成19年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟ 平成19年9月 履修者増加によるクラス 追加㊟ 平成20年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟
					兼任	講師	佐部利 弦	平成19年4月	基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ ピアノⅡ	平成19年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟ 平成19年9月 履修者増加によるクラス 追加㊟ 平成20年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟
					兼任	講師	星野 順一	平成20年4月	器楽Ⅰ 器楽Ⅱ	平成20年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟ 平成20年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟
					兼任	講師	天久 由紀	平成20年4月	器楽Ⅰ 器楽Ⅱ	平成20年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟ 平成20年4月 履修者増加によるクラス 追加㊟

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
16	8	2	0	26	0	17	8	2	0	27	0	
(14)	(8)	(2)	(0)	(24)	(0)	[1]	[]	[]	[]	[1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成18年11月30日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成19年4月1日)	該当なし		

7 その他全般的事項

<教育学部 子ども発達学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①平成19年度開設授業科目の年間開講数（クラス数） (1) 保育指導法（言葉） 2クラス (2) 保育指導法（健康） 2クラス (3) 保育指導法（環境） 2クラス (4) 基礎ピアノⅠ 4クラス (5) 基礎ピアノⅡ 4クラス	①履修者増加に伴い、適正な授業運営を図るため、開講数を増加した。 (1)～(3)の授業科目については、認可時の担当教員により各1クラスを追加開講し、(4)(5)の科目については、認可時の担当教員に加え、新たに教員資格審査を受けた専任教員及び非常勤講師を追加することにより、9～10クラスを追加開講した。 平成20年度についても、同様に履修者増加となる科目が見込まれるため、授業種別・内容に照らして、必要なクラス増等の対応をとる予定である。 [平成19年度 変更後のクラス数] (1) 保育指導法（言葉） 3クラス (2) 保育指導法（健康） 3クラス (3) 保育指導法（環境） 3クラス (4) 基礎ピアノⅠ 13クラス (5) 基礎ピアノⅡ 14クラス

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

[全学的な取り組み]

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学FD委員会を設置

全学FD委員会規準 添付（別紙1）

b 委員会の開催状況

○全学FD委員会委員の任期：平成19年5月1日～平成20年4月30日

・第1回：平成19年 6月13日（水）出席委員12名

審議事項

1. 平成18年度後期授業アンケートの実施状況
2. 平成18年度FD委員会活動報告書の作成について
3. 平成19年度全学FD委員会委員長の選出について
4. 平成19年度全学FD委員会活動について
5. その他

・第2回：平成19年 6月25日（月）出席委員9名

審議事項

1. 平成18年度後期授業アンケートの実施状況について
2. 平成19年度全学FD委員会活動について
 - (1) 平成19年度全学FD予算について
 - (2) 平成19年度授業アンケートについて
3. その他

・第3回：平成19年 7月24日（火）出席委員8名

審議事項

1. 平成19年度学部FD活動について
2. 平成19年度全学FD活動について
3. 平成19年度授業アンケートの実施について
4. その他

・第4回：平成19年 9月19日（水）出席委員8名

審議事項

1. 報告書の作成に関する件
2. 平成19年度授業アンケートの実施に関する件
3. 全学FD活動に関する件
4. その他

- ・第5回：平成19年10月30日（火）出席委員9名
審議事項
 1. 平成19年度後期アンケートの実施に関する件
 2. 平成20年度全学FD活動に関する件
 3. その他
- ・第6回：平成20年 1月30日（水）出席委員9名
審議事項
 1. 平成19年度後期授業アンケートの実施状況について
 2. 平成19年度予算執行状況について
 3. 平成19年度後期授業アンケート結果およびリフレクションペーパーの閲覧方法に関する件
 4. 平成20年度全学FD委員会活動に関する件
 5. その他
- ・第7回：平成20年 3月14日（金）出席委員9名
審議事項
 1. 平成19年度後期授業アンケートのリフレクションペーパー提出状況について
 2. 平成19年度後期授業アンケート結果及びリフレクションペーパーの閲覧について
 3. 平成19年度後期授業アンケート実施に関する意見書について
 4. 平成20年度後期授業アンケート実施に関する件
 5. 平成20年度全学FD委員会活動に関する件
 6. その他

② 実施状況

a 実施内容

授業評価アンケート

b 実施方法

< 実 施 要 領 >

1. 実施の目的

授業が学生にどのように受け止められているのかの全体的傾向を理解し、教員に対して授業の質的向上のヒントを提供することを目的とする。

2. 実施時期 平成19年12月3日（月）～12月 8日（土）

実施予備期間 平成19年11月26日（月）～12月1日（土）

実施予備期間 平成19年12月10日（月）～12月15日（土）

3. 対象科目

平成19年度後期開講の授業科目のうち、卒業研究、集中講義、オムニバス形式の科目及び受講者数が10名以下の科目を除くすべての授業科目で実施する。

4. 実施方法

○学生へ授業アンケート実施について掲示。

○対象科目ごとに封入された授業アンケート調査用袋を各学部事務室、教員のメールボックスに配付。

○授業時間内に実施。時間は15分～20分。学生がアンケートに回答している間は、回答者の匿名性が保たれるよう、十分に配慮する。

○実施済みのアンケート用紙等は、学部事務室まで提出。12月18日（火）をアンケート回収最終日とする。

○授業ごとの集計結果を、各学部事務室、教員のメールボックスへ配布。

c 実施状況

○実施対象科目数963科目中、903科目で実施した。（実施率は93.8%）

○実施教員数は、420名中405名が実施した。（実施率は96.4%）

○リフレクションペーパー（「授業についてのアンケート調査」結果を踏まえた授業評価）の提出者は405名中220名であった。（54.3%）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

○教員による「リフレクション・ペーパー」（授業アンケート結果を踏まえた自己点検・授業評価）を科目ごとに作成し、ポータルサイトを利用しPDF版冊子を当該学部学生に対し閲覧可能とする。

○授業アンケート結果を踏まえた自己点検・授業評価（冊子）印刷の作成。

[教育学部としての取り組み]

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育学部FD委員会を設置

構成員：学部長、学部主任2名

b 委員会の開催状況

第1回 平成19年6月5日（火） 出席3名

1. 平成19年度学生による授業評価授業アンケートの実施について

2. その他

第2回 平成19年7月3日（火） 出席3名

1. 第1回学部FD研修会について
2. 平成19年度教育学部FD研修会について
3. その他

第3回 平成19年10月2日（火） 出席3名

1. 第2回学部FD研修会について
2. 前期実施学生による授業評価授業アンケートについて
3. その他

第4回 平成19年11月6日（火） 出席3名

1. 平成19年度後期実施学生による授業評価アンケートについて
2. 第3回学部FD研修会について
3. その他

第5回 平成20年3月4日（火） 出席3名

1. 平成19年度後期実施学生による授業評価アンケートについて
2. 第4回（平成20年度）学部FD研修会について
3. その他

② 実施状況

a 実施内容

平成19年度教育学部FD研修会

b 実施方法

教育・保育に関する多様なテーマで、学内外の専門家や実務家による講演等を行った。

c 開催状況

第1回 平成19年7月10日（火） 出席23名

テーマ 教員・保育士採用試験の概要

講師 酒井輝彦 教育学部准教授

第2回 平成19年10月9日（火） 出席27名（他の部署の参加者を含む）

テーマ 最近の教員養成政策を探る—免許更新制・教職大学院を中心に—

講師 田子 健 愛知大学愛知大学教授

第3回 平成19年12月4日（火） 出席者 21名

テーマ 保育現場が求める保育者（特に四年制大学に求めるもの）

講師 齋藤善郎 林丘幼稚園長

a 実施内容

授業担当者会議

b 実施方法

半期に2回程度の会合を設ける。会議の内容は主に次のとおり。

- ・ 授業内容の共通理解を図る。
- ・ 前年度からの引継ぎ事項を確認する。
- ・ 授業運営において有効であると考えられるアイデアを出し合い、さらなる改善のためのディスカッションを行う。
- ・ それぞれの教員が授業実践の内容について報告する。
- ・ 有効であった教育方法、授業運営上の留意点などをまとめ、次年度担当者への引継ぎ事項とする。
- ・ 報告書の作成手順と担当者を決める。

c 開催状況

第1回「ふれあい実習Ⅰ（観察）」担当者会議 平成19年4月2日（月） 出席者7名

全体スケジュールと指導方法の意見交換と調整

第2回「ふれあい実習Ⅰ（観察）」担当者会議 平成19年6月19日（火） 出席者7名

報告書と最終レポートの作成について意見交換

第3回「ふれあい実習Ⅰ（観察）」担当者会議 平成19年7月24日（火） 出席者7名

授業運営方法の検討、報告書の作成日程等について意見交換

この他、「ふれあい実習Ⅱ」「教育ボランティアⅠ」「同Ⅱ」「福祉ボランティアⅠ」「同Ⅱ」についても随時担当者会議を開催した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業担当者間での「共通理解」「反省と改善点の洗い出し」「報告書の作成」の3つの作業を行い、教員資質を高めるとともに、次年度の授業改善に生かしていく。

- a 実施内容
教育学部学生に対する授業評価アンケート実施
平成19年度前期授業については、教育学部で独自に実施。授業アンケートの様式は、全学で前年度後期に実施したものと同一のもの。後期授業については、全学的に実施。
- b 実施方法
＜実施要領＞
1. 実施の授業
授業が学生にどのように受け止められているのかの学部の全体的傾向を把握し、教員に対しての授業の質的向上のヒントを提供することを目的とする。
 2. 実施時期 平成19年7月10日(火)～7月31日(火)
 3. 実施対象 19年度前期開講の授業の内、すべての開講科目が対象。
 4. 実施方法
- ＜作業の流れ＞
- 学生へ授業アンケート実施のお知らせを掲示。
 - 対象科目ごとに封入された授業アンケート調査用袋を各学部事務室、教員のメールボックスに配付。
 - 授業時間内に実施。時間は15分～20分。学生がアンケートに回答している間は、回答者の匿名性を保たれるよう、十分に配慮する。
 - 実施済みのアンケート用紙等は、学部事務室まで提出。
- c 実施状況
- 実施対象科目 73科目中、52科目で実施した。(実施率71.2%)
 - 実施教員 24人中24人 (100%)
 - リフレクションペーパー(「授業についてのアンケート調査」結果を踏まえた授業評価)の提出者は、24名中22名だった(91.7%)。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- 授業ごとの集計結果を、教員に配布。同時に、リフレクションペーパー(授業アンケート結果を踏まえた自己点検・授業評価)についての執筆依頼を行った。
 - リフレクションペーパーは、平成19年10月12日(金)を締め切りに授業担当者に提出を求めた。
 - 授業アンケート結果を踏まえた自己点検・授業評価(PDF版)を当該学部学生に対し閲覧可能とした。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙2のとおり)
- ② 自己点検・評価報告書
現在、平成19年度に行なった大学事業の自己点検・評価報告書である「大学年報(第12号)」を刊行する予定で準備を進めている。
- a 公表(予定)時期
平成20年10月下旬(予定)
- b 公表方法
- ・大学のインターネットホームページ上に公開する方向で検討中。
 - ・大学年報を刊行し、専任教職員、官公庁及び近隣の大学に配付する予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・財団法人大学規準協会による「平成18年度相互評価ならびに認証評価」を受け、平成19年3月13日付けで「適合」の判定を受けた。(有効期限：平成26年3月31日)
 - ・教育学部については、次回の認証評価において評価を受ける予定である。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年 7月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.sugiyama-u.ac.jp/daigaku/annai/shinsei.html>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年 7月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.sugiyama-u.ac.jp/daigaku/annai/shinsei.html>)

椋山女学園大学全学FD委員会規準

平成12年大規準第4号

平成12年5月16日制定

(趣旨)

第1条 この規準は、椋山女学園大学におけるファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development) に関する事項を円滑かつ有効に推進するために設置する全学FD委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、前条の趣旨を実現するため、ファカルティ・ディベロップメントに関する次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 企画、立案に関する事項
- (2) 必要な研究調査に関する事項
- (3) 学部間の連繋及び調整に関する事項
- (4) 研究会又は講演会等に関する事項
- (5) その他、学長が特に必要と認める事項

(委員)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学部長
- (2) 各学部において大学協議会協議員から選出された委員各1名
- 2 前項第2号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 3 委員に欠員が生じた場合には、その都度委員を補充しなければならない。この場合において、補充による委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 4 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を行う。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。

- 2 会議は、各学部1名以上の委員を含む委員の過半数の出席により成立する。
- 3 会議には、議長が必要と認めた場合、委員以外の者を陪席させることができる。

(事務)

第6条 委員会の事務は、教務課が行う。

(学部委員会)

第7条 各学部には学部FD委員会を設置するものとする。

- 2 前項の学部FD委員会の構成、委員長の選任方法及び委員の任期については、当該学部の教授会において定める。

(規準の改廃)

第8条 この規準の改廃は、委員会が発議し、大学協議会の議を経て学長が決する。

附 則

この規準は、平成12年5月16日から施行する。

附 則 (平成19年大規準第8号)

この規準は、平成19年9月1日から施行する。

(現状の説明)

教育学部は、本大学 6 番目の学部として、平成 19 年 4 月に発足した。

本学部は乳幼児保育、幼稚園から高等学校に至る学校教育、家庭における子どもの養育・しつけ、青少年のカウンセリング、国際化と教育、生涯にわたる人間形成などの保育や教育の諸問題の教育研究を推進し、社会の変化と要請に的確に対応し、学校、保育現場の諸問題に真摯に取り組み、カウンセリングマインドや異文化理解力を持ち、教育愛、使命感を持った教員、保育士となりうる人材の養成を目指している。

学部の構成は、1 学科(子ども発達学科) 2 専修(保育・初等教育専修と初等中等教育専修)からなる。2 専修を設けたのは、保育士資格に関しての厚生労働省からの要請に対応するためである。保育・初等教育専修では、保育士、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種の資格ないし免許状が取得でき、初等中等教育専修では、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、中学校教諭(数学)・(音楽)一種、高等学校教諭(数学)・(音楽)一種の免許状が取得できる。

以上の目的を達成するため、本学部は以下のことに努めている。

- (1) 子どもの発達を長期的視野に立って考えることのできる教員を養成するため、例えば、保育士と幼稚園教員、小学校教員と中学校教員といったように複数の免許ないし資格取得を奨励する。
- (2) 総合学園である利点を活かして、すべての学生が 1 年次から附属幼稚園・小学校、併設中学校・高等学校での実習に参加できる「ふれあい実習Ⅰ(観察)」をはじめ、多くの学外実習プログラムを準備して、実践力のある教員の養成を目指す。
- (3) ネイティブの教員による英語教育、海外教育研修によって実践的な英語能力を育成し、小学校高学年の外国語活動必修化(新学習指導要領)にも対応しうる教員の養成を目指す。
- (4) 学年ごとに少人数によるフェイス・トゥ・フェイス教育を実施し、学生一人ひとりの自己実現を支援する。

(総括評価)

上記の目的がどの程度達成されたかについては、教員の教育研究活動を大学がまとめて報告する『大学年報』、全学 F D 委員会が取りまとめた学生による授業アンケート調査、教員によるリフレクションペーパー、『椋山女学園大学研究論集』、『教育学部紀要』などで公表した(一部は今後公表予定)。概して、学部 1 年目は順調なスタートを切ったといえることができる。その特筆すべき点を所見の項で記す。

(所見)

- ① 19 年度入学者は 167 名(志願者総数 917 名、定員 147 名)であり、質の高い学生を確保できた。
- ② 附属・併設校との連携による「ふれあい実習Ⅰ(観察)」及び「ふれあい実習Ⅱ(参加)」は、実践的学習として学生に高い評価を得た。「ふれあい実習Ⅰ」については、260 ページにわたる報告書を作成してその成果を公表している。また、2 年生から始まる保育実習に備えて、附属幼稚園で 100 名余が 2 週間(学生 1 人につき 1 週間)にわたる実習体験に参加できたことは、学生と教員の両者にとって、保育実習の課題がより鮮明になったという理由で有益であった。
- ③ 本学教員による保育士、幼稚園教員を対象とした現職セミナー(保育実践ワークショップ)は、本学部の教育内容の披露の意味もあって行われた。作曲法とわらべ歌指導法の両講座とも高く評価され、学部の指導内容、方法が現職教員、保育士に受け入れられるものであることが実証された。
- ④ 月曜日から金曜日まで毎日 40 分ずつ通年で開講する教養教育科目「英語Ⅰ」は、学生に好評で脱落者もなく、しかもケンブリッジ英語検定試験の成績は、一般標準より優秀で、小学校の外国語活動に対応することができる教員の養成に大きく貢献すると考えられる。
- ⑤ 教員が、授業アンケートに回答し、自身の授業の自己評価とするリフレクションペーパーは、本学部教員の提出率(92.3%)が、他学部の教員(大学平均 54.2%)に比べてきわめて高い。教員養成学部の教員として真摯に授業に取り組む姿勢の表れとして評価されうる。
- ⑥ 保育士、幼稚園・小学校教諭に必要な技能を育成する「基礎ピアノⅠ・Ⅱ」は、専任教員と非常勤講師のコマ増を行い、希望者全員を受け入れた。
- ⑦ 数学教諭希望者に専任教員が補習教育を実施して、学生の実力向上に寄与した。
- ⑧ 専任教員 1 名の追加採用については、教員資格審査等の所定の手続きを踏まえ実施した。